

～ ふるさととつながり、仲間とともに“在りたい未来”を創造する建屋っ子の育成 ～

建小 NEWS

養父市立建屋小学校 学校だより
令和6年6月10日 No.5



咲かせよう「人権の花」「思いやりの花」



今年度、3・4年生が「人権の花」運動に参加します。この運動は、但馬人権啓発活動地域ネットワーク協議会が主催するもので、花を育てる活動を通して「思いやりの心」や「生命尊重の態度」を育むことをねらいとしています。

5月24日（金）、届けられた8つのプランターに手際よく土を入れた後、子ども達は色とりどりの花の苗をポットから取り出し、丁寧に植えていきました。嬉しそうに自分の名前をつける児童や、「きれいに咲いてね」と声かけしながら植える児童もいて、命あるものを慈しみ大切にする心が伝わってきました。これから毎日、協力しながら水やりをする子ども達。花の成長を見守りながら、優しい心、豊かな心を育ててくれることを願います。



ふれあい田んぼで「命」を育む 全校生で「田植え」体験 5月24日(金)



田んぼの温もりを肌で感じながら、一列に並んで田植えをしました。



今年も「たきのやっ子応援団」の皆様にもお助けいただきました



ふるさと探検隊！ 2年生 「町探検」に出かけよう

5月30日（木）、2年生10名が意気揚々と町探検に出かけました。郵便局や商店街、建興寺や阿弥陀寺、アムナック、らいおんカフェなどを歩いて巡り、建屋の町について理解を深めました。今月19日（水）には旧建屋小学校を訪れる予定です。



修学旅行2024 5月30日（木）～31日（金）

修学旅行で広島を訪れる目的は、①平和公園内にある慰霊碑やモニュメントに込められた願いを知ること、②原爆が投下された当時の広島の惨状を知り、「戦争や原爆の脅威」について正しく理解すること、③平和の実現に向け、主体的に行動する態度を育むことにあります。

今回の修学旅行は、子ども達に関心をもって学び、主体的に行動できた修学旅行でした。出発前に藤原弘氏を講師に招いて行った平和学習が、子ども達の「知りたい」という思いを刺激したようで、碑めぐりガイドの上山さんの説明をしっかりと聞き、メモをとり、次々質問するなど、意欲的に学ぶ姿を見ることができました。被爆電車について尋ねた川上瑛太さんに、ガイドの上山さんから後日写真が届くなど、人とのつながりが生まれた旅行でもありました。

6年生の子ども達は、今回学んだことをパワーポイントにまとめ、「夏のオープンスクール」2日目に発表する予定です。（下に紹介するのは、その内容の一部です。）



◆これは原爆の子の像です。この鐘の下には碑文がありました。それには「これはぼくらの叫びです。これはぼくらの祈りです。世界に平和を築くための」とありました。そして鐘には、「地に空に平和」という字が掘られていました。

（森山結月）

◆初めに原爆の子の像を見ました。原爆の子の像とは、佐々木貞子さんが鶴を持って立っている像のことです。5月5日の子どもの日に作られ、9メートルもあるそうです。みんなで平和への思いを込めてセレモニーをしました。

（松田すちな）

1日目の夜は広島市内のホテルに宿泊し、手品やクイズを披露するなどレクリエーションを楽しみました。

2日目は厳島神社と宮島水族館へ。ちょうど干潮時で、鳥居の真下まで行って、集合写真を撮ることができました。厳島神社の歴史や鳥居の構造について学んだほか、宮島水族館で生き物にふれたり、家族にお土産を買ったりしました。友達や担任の先生との絆が深まった2日間でした。

◆本川小学校の地下で、原爆の被害について聞きました。原爆の被害の範囲は半径5kmです。赤い球は原爆の爆発した高さを表しています。高さは600mです。（富田康介）

